

011 From Editor

013 表紙の時計／ローラン・フェリエ「クラシック・ムーン」

014 Editor's Choice!

ロンジン「ロンジンマスターコレクション」、ハミルトン「カーキフィールドチタニウムエンジンアドガーマンツリミテッドエディション」、フレデリック・コンスタント「バイライフ オートマチック COSC」、ポールウォッチ「ロードマスターパーシビア」

018 世界は時計で回っている。

020 時計を彩る装飾芸術の文化を遺すために

ジャガー・ルクルト「レベルソ・トリビュート・エナメルコレクション」

ヴァシユロン・コンスタント「メティエ・ダール」——伝統的シンボルに敬意を表して

A.ランゲ&ゾーネ「ダトグラフ・ハンドヴェルクスクンスト」

エルメス「スリムドゥエルメス ポケット」《ミステリアス・ライダー》、

《アルソーグラン・トゥラララブリッド・エ・モール》

026 ペキエ「ロワイヤルトゥールビジョン」、ロワイヤルパリトリコロールカレンダー

フレンチ・マニユファクチュールの国際市場での確立を目指して

028 ジラール・ペルゴ「ロレアートクロノグラフ 藍色ジャパンリミテッドエディション」、ロレアート 藍色ジャパンリミテッドエディション

スイス時計と日本の絆の礎を築いた先駆者に寄せて

030 レイモンドウエイル「ミレジムコレクション」

コレクシオンを充実させた、静かなオーラを放つ「ミレジム」

034 カシオオシアナス「OCW-S7000SG」、OCW-SG1000NE

20周年を迎え、次なる寄港地に向けて航海は続く

038 プライトリング 創業140周年 Part 2

過去に築かれたものに敬意を表し、現代の時計をつくる

プライトリングは140周年を記念して自社開発ムーブメントのなかで最も複雑な永久カレンダー機構を装備するCar. B19とその搭載モデルを発表した。また2000年に登場した「アベンジャー」はアップデートし、コレクションを充実させている。これらとともに自社キャリアの発展をみてみたい。

045 ルイ・モネ——歴史に埋もれた偉大な時計師を讃えて20年

精密計時と天体への好奇心が開く独創の世界

ジャン・マリー・シャラー氏がアトリエル・ルイ・モネを創業して20周年を迎えた。時計師ルイ・モネが発明した史上初のクロノグラフに敬意を表した、メカニカルワンダーズ、隕石を多様に用いて宇宙への夢を語る、コズミック・アート、これらふたつのコレクションを中心に今日のルイ・モネをご紹介します。

055 2024年ブランド別新作情報 パート3——ジュネーブ・ウォッチ・デイズ / WPHH / ウォッチズ&ワンダーズ 上海 / 日本メーカー
持てる力を生かして**堅実な発展を目指した新作**

073 チェコ、フランス、中国から日本に上陸した4つのブランド——ロボット、ラボア、エイレン、ペーレンス

時計の魅力に抗しがたく船出を決意した人々

今日、機械式時計に魅了され自らブランドを立ち上げる人は世界各国に見られる。チェコのデザイナーを時計で表現する、ロボット、1950年代から1960年代のフランス軍用時計やクロノグラフを再現する、ラボアとエイレン、中国深圳でユニークな表示機構を開発する、ペーレンスを取りあげる。

080 ブランバン、ヴァイル、コレクション

ジユウ深谷の森を覆う深い緑を文字盤で表現

081 ロンジン、ロンジンスピリットZurich Time、ロンジンスピリットフライバック

過去の技術的功績を振り返るシリーズにバリエーション登場

082 パネライ、サブマーシブル、ネイビーシールズ

アメリカ海軍特殊部隊を讃える、サブマーシブル

083 タグ・ホイヤー、タグ・ホイヤー・カレラ、エクストリームスポーツコレクション

モーター・スポーツとの関わりを現代的に大胆に表現

084 ベル&ロス、BRRX5、レーシング

多層構造を生かした堅牢かつ軽量のBRRX5

085 スイスの時計産業と日本を繋ぐスイス時計協会(FH)第14回

セイコータイムクリエーション、デコール、セイコーからくり時計、輪舞

086 齒車と人形たちが繰り広げる「夢の舞台」へご招待

GPHG

088 20代から80代まで各国から選ばれた受賞者たち

アフグラス銀座、新店舗オープン

090 時計を愛する人々のサロンにふさわしい環境が誕生

口新、NISSHINDO WATCH MAKING SCHOOL

091 400年以上の流れのなかで培われた時計文化を伝えたい

092-096 インフォメーション / 問い合わせリスト / 次号予告



2024年9月1日から同30日までイタリア・ヴェネチアで「人生の旅」をテーマに開催された第3回ホモ・ファベール・ピエンナーレ。現代クラフツマンシップの祭典であり、世界70か国からさまざまな分野の職人たちが集まり、それぞれの工芸技法を披露した。



時計を彩る装飾技法の文化を遺すために

ジャガー・ルクルト シェベルソ・トリビュート エナメル コレクション

クロード・モネのヴェネチアにオマージュを捧げる

今日、高級時計メゾンはエナメルや彫金、宝飾細工をはじめとする伝統的な手芸による装飾技法に力を入れ、人の手によって培われてきた文化を後世に継承する努力を続けている。こうした技術はクオーツ・シヨックの影響で機械式時計とともに衰退し、姿を消しつつあった。しかし幸いなことに機械式時計と同様に人類の遺産である工芸技法の魅力と重要性に気づき、職人たちの存続のために力を尽くした人々がいた。それからおよそ40年の時を経た今日では、フランス語で「芸術的な手仕事」を意味する「メティエ・ダール (Métiers d'Art)」とこの言葉も定着し、時計装飾の重要な要素として社内に専門工房を設けるブランドも少なくない。

今日、高級時計メゾンはエナメルや彫金、宝飾細工をはじめとする伝統的な手芸による装飾技法に力を入れ、人の手によって培われてきた文化を後世に継承する努力を続けている。こうした技術はクオーツ・シヨックの影響で機械式時計とともに衰退し、姿を消しつつあった。しかし幸いなことに機械式時計と同様に人類の遺産である工芸技法の魅力と重要性に気づき、職人たちの存続のために力を尽くした人々がいた。それからおよそ40年の時を経た今日では、フランス語で「芸術的な手仕事」を意味する「メティエ・ダール (Métiers d'Art)」とこの言葉も定着し、時計装飾の重要な要素として社内に専門工房を設けるブランドも少なくない。

今日、高級時計メゾンはエナメルや彫金、宝飾細工をはじめとする伝統的な手芸による装飾技法に力を入れ、人の手によって培われてきた文化を後世に継承する努力を続けている。こうした技術はクオーツ・シヨックの影響で機械式時計とともに衰退し、姿を消しつつあった。しかし幸いなことに機械式時計と同様に人類の遺産である工芸技法の魅力と重要性に気づき、職人たちの存続のために力を尽くした人々がいた。それからおよそ40年の時を経た今日では、フランス語で「芸術的な手仕事」を意味する「メティエ・ダール (Métiers d'Art)」とこの言葉も定着し、時計装飾の重要な要素として社内に専門工房を設けるブランドも少なくない。

今日、高級時計メゾンはエナメルや彫金、宝飾細工をはじめとする伝統的な手芸による装飾技法に力を入れ、人の手によって培われてきた文化を後世に継承する努力を続けている。こうした技術はクオーツ・シヨックの影響で機械式時計とともに衰退し、姿を消しつつあった。しかし幸いなことに機械式時計と同様に人類の遺産である工芸技法の魅力と重要性に気づき、職人たちの存続のために力を尽くした人々がいた。それからおよそ40年の時を経た今日では、フランス語で「芸術的な手仕事」を意味する「メティエ・ダール (Métiers d'Art)」とこの言葉も定着し、時計装飾の重要な要素として社内に専門工房を設けるブランドも少なくない。

今日、高級時計メゾンはエナメルや彫金、宝飾細工をはじめとする伝統的な手芸による装飾技法に力を入れ、人の手によって培われてきた文化を後世に継承する努力を続けている。こうした技術はクオーツ・シヨックの影響で機械式時計とともに衰退し、姿を消しつつあった。しかし幸いなことに機械式時計と同様に人類の遺産である工芸技法の魅力と重要性に気づき、職人たちの存続のために力を尽くした人々がいた。それからおよそ40年の時を経た今日では、フランス語で「芸術的な手仕事」を意味する「メティエ・ダール (Métiers d'Art)」とこの言葉も定着し、時計装飾の重要な要素として社内に専門工房を設けるブランドも少なくない。

今日、高級時計メゾンはエナメルや彫金、宝飾細工をはじめとする伝統的な手芸による装飾技法に力を入れ、人の手によって培われてきた文化を後世に継承する努力を続けている。こうした技術はクオーツ・シヨックの影響で機械式時計とともに衰退し、姿を消しつつあった。しかし幸いなことに機械式時計と同様に人類の遺産である工芸技法の魅力と重要性に気づき、職人たちの存続のために力を尽くした人々がいた。それからおよそ40年の時を経た今日では、フランス語で「芸術的な手仕事」を意味する「メティエ・ダール (Métiers d'Art)」とこの言葉も定着し、時計装飾の重要な要素として社内に専門工房を設けるブランドも少なくない。

今日、高級時計メゾンはエナメルや彫金、宝飾細工をはじめとする伝統的な手芸による装飾技法に力を入れ、人の手によって培われてきた文化を後世に継承する努力を続けている。こうした技術はクオーツ・シヨックの影響で機械式時計とともに衰退し、姿を消しつつあった。しかし幸いなことに機械式時計と同様に人類の遺産である工芸技法の魅力と重要性に気づき、職人たちの存続のために力を尽くした人々がいた。それからおよそ40年の時を経た今日では、フランス語で「芸術的な手仕事」を意味する「メティエ・ダール (Métiers d'Art)」とこの言葉も定着し、時計装飾の重要な要素として社内に専門工房を設けるブランドも少なくない。

今日、高級時計メゾンはエナメルや彫金、宝飾細工をはじめとする伝統的な手芸による装飾技法に力を入れ、人の手によって培われてきた文化を後世に継承する努力を続けている。こうした技術はクオーツ・シヨックの影響で機械式時計とともに衰退し、姿を消しつつあった。しかし幸いなことに機械式時計と同様に人類の遺産である工芸技法の魅力と重要性に気づき、職人たちの存続のために力を尽くした人々がいた。それからおよそ40年の時を経た今日では、フランス語で「芸術的な手仕事」を意味する「メティエ・ダール (Métiers d'Art)」とこの言葉も定着し、時計装飾の重要な要素として社内に専門工房を設けるブランドも少なくない。

今日、高級時計メゾンはエナメルや彫金、宝飾細工をはじめとする伝統的な手芸による装飾技法に力を入れ、人の手によって培われてきた文化を後世に継承する努力を続けている。こうした技術はクオーツ・シヨックの影響で機械式時計とともに衰退し、姿を消しつつあった。しかし幸いなことに機械式時計と同様に人類の遺産である工芸技法の魅力と重要性に気づき、職人たちの存続のために力を尽くした人々がいた。それからおよそ40年の時を経た今日では、フランス語で「芸術的な手仕事」を意味する「メティエ・ダール (Métiers d'Art)」とこの言葉も定着し、時計装飾の重要な要素として社内に専門工房を設けるブランドも少なくない。

過去に築かれたものに敬意を表し、現代の時計をつくる

ブライトリングは創業140周年を迎えた2024年に自社ムーブメントの中で最も複雑な永久カレンダーを装備するCal. B19とこれを搭載した記念限定モデルを発表した。Cal. 01に始まる自社ムーブメントは着実に発展を遂げ、その流れをみてみたい。



「スーパークロノマット B19 44 パーベチュアルカレンダー 140周年アニバーサリー」。直径44.00mm×厚さ15.35mmの18Kレッドゴールド・ケースにCal.B19を搭載。ブラック・セラミックのインサート付き逆回転防止ベゼル。ドーム型サファイア・クリスタルの風防と裏蓋。100m防水。18KRG製フォールディング・バックル付きラバー製ルーロー・ストラップ。価格777万7000円。限定140個。



2024年9月下旬にブライトリングCEOのジョージ・カーン氏が正規販売店やプレスに向けたプレゼンテーションのために来日した。創業140周年を迎えたブライトリングを率いる彼は「まったく新しいものを作ることはしない。歴史を生かすことが製品開発の柱です」と語った。カーン氏は2017年にCEOに就任した当初に「ブライトリングの非常に豊富なアーカイブに驚いた」と語ったが、それが今日の製開開発に結びついている。そして陸海空、プロフェッショナルをテーマとした「モダン・レトロ」なデザインの「クールでリラックス」な時計を市場に送り出している。

140周年を記念して、「プレミエ」、ナビタイマー、クロノマット」というアイコン的なコレクションから新開発のCal. B19を搭載する「アニバーサリーエディション」が登場した。今日まで自社開発のCal. 01に付加機能を加えてキャリバーを発展させてきたが、Cal. B19は最も複雑な永久カレンダー機構を搭載する最上位機種である。

1943年に誕生した「エレガントな紳士のためのクロノグラフ」の「プレミエ」、回転計算尺が特徴の1952年デビューの「ナビタイマー」、1983年にフレッチエ・トリコロリの公式時計として誕生した「クロノマット」、それぞれの個性がアニバーサリー・モデルの18Kレッドゴールドとブラックのコンビネーションのなかで集約された。「プレミエ」のアラビア数字のインデックスと角型のプッシュ・ボタンはオリジナルに見られた特徴であり、モデル名にある「ダトラ」はフルカレンダーとムーンフェイズを備えるモデルを意味する。ムーンフェイズには過去に做って顔が描かれた「ナビタイマー」は回転計算尺がブラックで彩られる。「クロノマット」は直径44mmの大型の「スーパークロノマット」を採用し、ライダータブやオニオン型リュウズを備え、またラバー製のルーロー・プレスレット、セラミック製のベゼル・リングという現代的な要素も組み込まれた。またブライトリング初のカットワーク文字盤も特徴である。

ルイ・モネ——歴史に埋もれた偉大な時計師を讃えて20年

精密計時と天体への好奇心が開く独創の世界



時計技術に多くを遺しながら忘れ去られていた時計師ルイ・モネの名をダニエル・ロート氏から聞いたジャン・マリー・シャラー氏がアトリ
エルイ・モネを創業して20周年を迎えた。史上初のクロノグラフを開発したルイ・モネの功績を讃えた「メカニカルワンダーズ」、時間の原点
である天文学にも精通した彼に因んだ「コスミックアート」、ふたつのコレクションを中心に展開する今日のルイ・モネを見てみたい。

2024年ブランド別新作情報(3)——ジュネーブ・ウォッチ・デイズ／WPHH／
ウォッチズ&ワンダーズ 上海／国産メーカー

持てる力を生かして堅実な発展を目指した新作



2024年8月29日から同9月2日まで第5回ジュネーブ・ウォッチ・デイズが開催された。コロナ禍の2020年にブライトリング、ブルガリ、ジラルール・ベルゴ、H. モーザーなど9ブランドが創設した時計イベントで、今年は52ブランドが参加。各ブランドはブティックやホテルで販売店やメディアに向けて新作を披露したが、レマン湖畔に設けられたパビオンには65のショーケースに100点の新作が展示され、一般の人々も無料で入場でき、時計を見ることができた。一般来場者数は昨年に比べて約70%増の1万3800人以上と発表された。シンポジウムやチャリティ・オークション、時計ブランドのCEOとのカジュアルな朝食なども企画され、時計を巡る楽しい5日間の祭典だった。

チェコ、フランス、中国から日本に上陸した4つのブランド

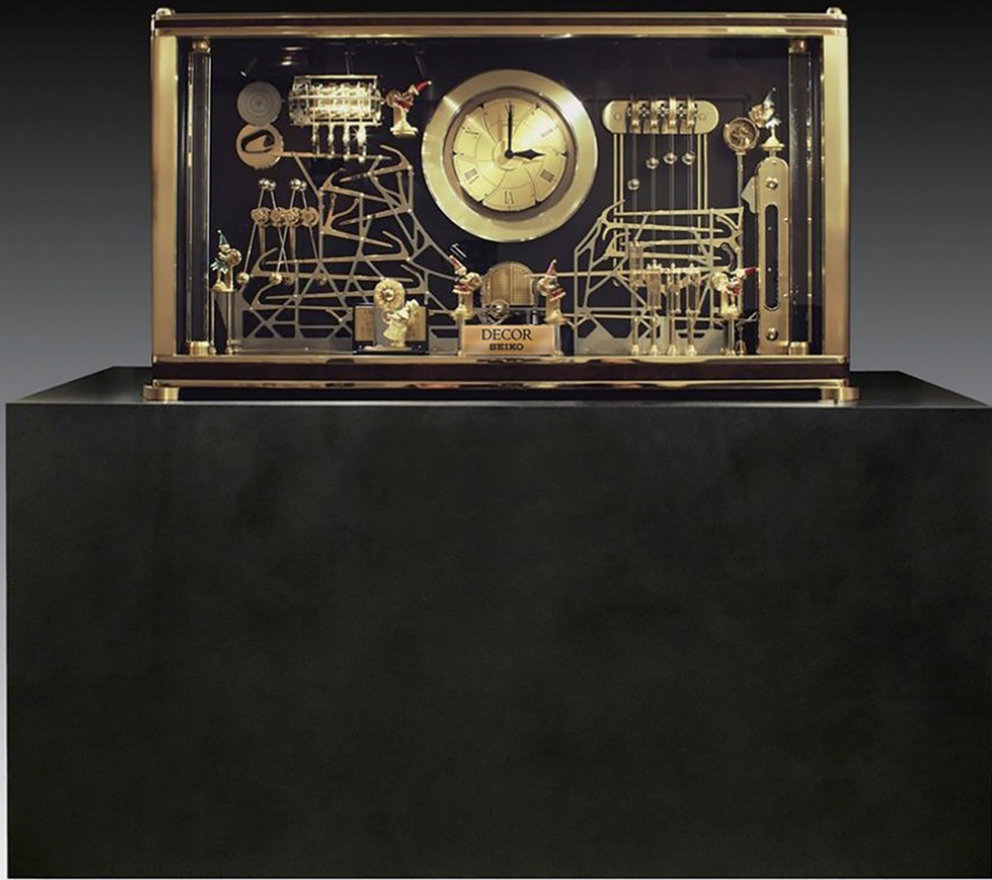
時計の魅力に抗しがたく船出を決意した人々



世界各地に時計に魅せられた人々がいる。そして時計の魅力に吸い寄せられ、時計ブランドを立ち上げた人々も世界中に存在する。チェコの機械技術の遺産を伝えることを目指した「ロボット」、1940年代から1950年代のフランスのドゥーヌ社のクロノグラフや軍用時計に魅せられたオランダのトム・ヴァン・ウィジリック氏が手がける「ラボア」と「エイレン」、そして中国で独創的な時計を生み出す「ベーレンス」を取り上げる。

セイコータイムクリエーション「デコールセイコー」からくり時計 輪舞^{ロンド}

歯車と人形たちが繰り広げる夢の舞台へご招待



「デコール セイコー からくり時計 輪舞」。高さ163.7cm×幅180.0cm×奥行き75.0cm(台座部分を含む)。重量約460kg。電波修正式クォーツ。電源AC100V。音源(著作権の確認ができた音楽に限る)および人形1体は購入者のオーダーにより変更が可能。価格1億6500万円。銀座・和光のみの販売。銀座・和光のエントランスに常設展示される。からくりの詳細は以下で見ることが出来る。<https://youtu.be/DG1WQuSBIjs>

「はぐるまどけいをみたらたのしくなったので、2かいみました。ありがとうございます」。2024年3月、セイコータイムクリエーションにこんな手紙が届いた。手紙の主は4歳の男の子。子供らしい「輪舞^{ロンド}」のスケッチも添えられていた。開発に携わった和田光夫氏は「これは勲章です」と語る。輪舞^{ロンド}の開発は2018年にセイコーホールディングス(現セイコーグループ)社長の中村吉伸氏の「老若男女があつと驚くような新しいものを作りたい」という要望から始まった。2019年末までに設置し、2020年に予定された東京オリンピックで技術力を世界に向けてアピールしたい、という思いもあった。

セイコーは1984年に東京・有楽町のマリオンからくり時計を設置し、その後も全国約240か所のからくり時計を手がけてきた。和田氏は長年にわたってさまざまな時計に携わってきたが、中村氏の漠然とした、しかし強い要望を受けて、「子供の目線で楽しめるからくり時計を作ろう。ワクワクするストーリーがあつて驚きがあるものを作り、そこから夢が生まれて欲しい」という思いが沸いた。やがて時計の象徴の歯車を主役にした「歯車の冒険」のストーリーをからくり時計で表現するアイデアが生まれた。しかし「誰もがあつと驚く新しい仕掛け」はいままでに経験したことがないものを生み出すことを意味する。和田氏は「歯車の冒険」は技術者の冒険でした」と語る。輪舞^{ロンド}は正時の1分前にファンファーレが鳴り始め、8秒間連続と指揮者がせりあがり歯車と6体のパペット(人形)たちのパフォーマンスが始まる。約3分間続く1回の流れのなかで4つの歯車が順番に飛び出し、レールを自然落下で移動して内部を巡り、再び時計の中に納まる。制御できない自然落下をいかに規則的な流れにして一定の時間内で歯車を動かすかが最も難題だった。約10人の開発チームは2018年3月にデザインに取り掛かり、同年11月にデザインが決まると技術開発、設計を行い、翌年5月に部品製造が始まり、12月の発表に漕ぎつけた。時計内部には動きを把握するために52のセンサーを搭載し、標準電波受信機能を備えるなど先端技術も重要な役割を担う。セイコータイムクリエーションは輪舞^{ロンド}の販売を決定した。「多くの人にこの魅力を知って欲しい」と担当者語る。(T・K)

ワールド・ムック1334
WORLD WRIST WATCH

KESAHARU IMAI
Publisher

TOMOKO KAYAMA
Editor in Chief

KAZUO TSUBOI
Advertising Director

SHUNSUKE OGAWA
Production Director

HIROSHI SASAGAWA
Circulation Manager

DTP
BASE

Cover Photo/
Takenori Aoki (WPP)

●本誌に掲載されている価格は
令和6年11月30日の調べによるものです。
本文中の価格は消費税(10%)込みの総額表示です。
© WORLD PHOTO PRESS 2025

【次号予告】

2024年後半の話題の詳細をレポート

A・ランゲ&ゾーネはブランドのアイコンである「ランゲ 1」の誕生を記念して4つの新作を発表。パテックフィリップからは全く新しいコレクションの「キューピタス」が登場。

ザアワグラスジャパンは「ワンダリングアワーズ」で知られるスイスの独立系ブランドのウルベルクの独占的な販売代理店となり、日本における同ブランドの新たな展開がスタート。

ユニバーサル・ジュネーブは2026年の本格的な復活に先駆けてウェブサイトと専用のソーシャルメディアチャンネルを公開。

ピアジェは2024年の150周年を締めくくる新作として

「ピアジェ アンディ・ウォーホル クル・ド・パリ」ウォッチを発表。

これらをはじめ2024年の後半に発表された新作や話題を掘り下げます。

「世界の腕時計」第163号は2025年3月10日発売予定です。

世界の腕時計 定期購読のご案内

毎号、送料無料でお届けします！

お近くに書店のない方、毎号確実に入手したい方
便利な定期購読を是非ご利用ください。
特別定価アップ分、および送料はサービスいたします。

【年間購読料】

1年間(年4冊) **7,200円(税込)**
(3月、6月、9月、12月・8日発売予定)



【お申し込み方法】

フリーダイヤル 富士山 富士山

- お電話で(年中無休/9時~21時受付) **0120-223-223**
- インターネットから <https://fujisan.co.jp/sekainoudedokei>
- QRコードから 上記QRコードからアクセスして下さい。

【お問い合わせ】

富士山マガジンサービスカスタマーセンター
パソコンサイト: <https://fujisan.co.jp/cs>
メールの場合: cs@fujisan.co.jp
に、お問い合わせください。

■注意事項

- 定期購読の契約は、富士山マガジンサービスとの契約となります。
- お支払いのタイミングによっては、ご希望の開始号が後ろにずれる場合がございます。
- 地域によっては、発売日より商品到着が若干遅れる場合がありますので予めご了承下さい。
- 定期購読は原則として途中解約はできませんので予めご了承下さい。

編集の都合上、内容が一部変更となる場合もありますので、ご了承ください。

ワールドフォトプレス総合サイト <https://www.monomagazine.com>

WORLD M O O K

ワールド・ムック1334

世界の腕時計

No.162

令和7年1月15日発行

発行人……………今井今朝春
編集人……………香山知子
発行所……………株式会社ワールドフォトプレス
〒166-0004東京都杉並区阿佐谷南1-12-1
アーク阿佐ヶ谷
編集部……………☎03-6383-2319 FAX.03-6383-2583
メディアビジネス部
……………☎03-5929-7682 FAX.03-6304-9443
販売部……………☎03-6383-2390 FAX.03-6383-2574
印刷所……………大日本印刷株式会社

- 造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がありましたら
小社・販売部宛てにお送りください。送料小社負担にてお取替えいたします。
- 本誌掲載記事の無断転載・複製・転写を禁じます。